

令和7年度事業報告書

特定非営利活動法人

子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

はじめに

令和7年度は、物価の高騰に次ぐ高騰で私たちの生活も大きな不安に明け暮れた。世界情勢も混迷を極めていた。私たちは、このような社会の在り方に大きく影響されていることは否めない。しかし、今、現実に関心自身の問題に直面している子どもたちにとって、のばす会は、子どもたちが自分らしく過ごすことができる居場所としてあり続けたいと願ってきた。そのため、令和7年度は、子ども理解を深めるための講演会を企画した。そのような中で、生徒・保護者・スタッフ等関係者の協力もあって、特段の問題もなく無事終了した。以下はその事業報告の詳細である。

1. 事業実施の概略

本団体は、不登校、引きこもり等に悩む若者や保護者の方々に、相談業務、フリースクールでの学習及び生活指導を通して相互の理解と協力関係を構築してきた。(定款第3条)そこで、特定非営利活動に係る(1)フリースクールにおける青少年支援活動事業(2)スタッフのカウンセリング研修事業(3)青少年の健全育成に関する事業について、それぞれの事業を展開してきた。(定款第5条)以下その詳細について報告する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 青少年支援活動事業

ア フリースクール支援事業

(ア) 事業内容

① 学習指導及び生活指導

・日 課

(教室内清掃と消毒、教室入室記録)

9:30~9:40 諸連絡

9:40~11:30 自主学習(基礎学力充実)

11:30~12:30 軽運動室にて卓球(水・木曜日)

12:30~13:30 昼食

13:30~15:00 リクリエーション、手芸、ゲームなど

・毎週木曜日2部学習支援 14:30~17:00…青少年の学習支援と居場所の提供

内容(会話、トランプゲームなどの交流、学習、読書、屋外での軽運動など)

・利用施設は「アイプラザ半田」内109号、110号室、106号室(いずれも本スクール活動室)

・活動日:

・4月8日~7月18日(夏休み7月19日~8月25日)

・8月26日~12月23日(冬休み12月21日~1月6日)

・1月7日~3月24日(春休み3月25日~4月8日)

②進路相談

・公立の定時制、通信制高校及び私立の通信制サポート校などの情報提供を行い、受験に必要な学習指導や作文・面接指導も継続して行った。並行して進路相談業務も進めた。

③スポーツ・リクリエーション（市教育委員会による減免措置を受けている）

a 月1回主に火曜日 13:00~14:00 半田市体育館（主にバスケット、バドミントン）

b 毎週水・木曜日 11:30~12:30 施設内の軽運動室(卓球)、毎回参加者生徒平均2~5名

④相談業務

・必要に応じ適宜行っている。a 本人の申告による場合。b スタッフが必要と認めた場合。

c 緊急に必要と認められた場合。d 進路支援に関わる場合。

⑤夏休み学習支援 8月4日、5日、6日、7日（このうち3日間は寺子屋事業と兼ねる）

⑥茶道教室

・アイプラザ半田茶道室…11月27日（木）講師1名、参加17名

⑦アニマルセラピー

・毎月第2木曜日、ボランティア団体の協力のもと、主に中庭を利用して犬と触れ合った。

・10月と2月に中井ウイングセラピーさんの協力のもと、中庭を利用して鷹やフクロウ等の羽に触ったり、腕に乗せたりして触れ合うことができた。

⑧令和7年度卒業・修了を祝う会

・開催日時：令和8年3月20日（金）10:00~12:00

・会場：アイプラザ半田2階研修室

・内容：卒業・修了を祝う会・懇談会

・出席者：卒業生4名(中学生3名、小学生1名)

修了生5名(高校生2名、中学生3名)

保護者9名、スタッフ13名、来賓4名、(計：35名)

・懇談会では子どもたちや保護者の方がそれぞれに発言し、のばす会で過ごしていた時の気持ちや感謝の気持ちを話された。

(イ) 従事者人数

1日平均3~6名

(ウ) 受益対象者人数

3~7名

(エ) 費用総額 441,175 円

内訳：(教材費 19,111 円 通信運搬費 440 円 旅費交通費 325,620 円 消耗品費 96,004 円)

(オ) 収 益 0 円

イ 「ハートルーム」及び「寺子屋事業」

(ア) 事業の性格

①「ハートルーム」：毎月第3土曜日(13:00~16:00)。当初は、子どもの扱いに困った母親の相談が主であったが、子どもも参加するようになった。その子どもたちも成長し、現在は中高生が中心に学習やししゃべり場として活用されていた。本年度は2回開催されていた。本来の

割を終えたと判断し、来年度以降は休会することになった。

- ②「寺子屋事業」：「半田市・子どもの学習・生活支援事業（長期休暇学習支援事業）に係る協定書」に基づいて、長期休暇中に、学校以外に安心して過ごせる居場所を提供し、学習支援を実施する。当事業は「半田市子ども未来部子ども育成課」との協力関係を維持しながら現在に至っている。

(イ) 実施内容：

工作、おやつ作り、季節の遊び（水遊び・コマ回し）、リクリエーション、外遊び等に取り組んだ。

(ウ) 利用施設：上記①②とも、活動場所は 109、110 号室、106 号室、中庭、軽運動室、

(エ) 従事者人数：「ハートルーム」「寺子屋事業」とともに 3～4 名。

(オ) 「ハートルーム」の受益対象者人数、延べ 6 名。主に中学生、高校生が参加。

(カ) 親たちによる「おしゃべり会」ハートルーム開催日 13：00 から毎回出席者 3 名程度

(キ) 「寺子屋事業」の実施期間と受益対象者人数

夏期：寺子屋事業…7 月 23 日（水）、24 日（木）、25 日（金）、8 月 4 日（月）、5 日（火）、6 日（水）、
18 日（月）、19 日（火）、20 日（水）、21 日（木）

※受益対象者人数：23 名（小学生 13 名 中学生 5 名 高校生 5 名）（スタッフ 5～10 名）

冬期：寺子屋事業…12 月 23 日（火）、24 日（水）、25 日（木）

※受益対象者人数：16 名（小学生 9 名 中学生 4 名 高校生 3 名）（スタッフ 3～8 名）

春期：寺子屋事業…3 月 25 日（水）、26 日（木）、27 日（金）

※受益対象者人数：21 名（幼児 2 名、小学生 10 名 中学生 4 名 高校生 5 名）（スタッフ 4～5 名）

(ク) 費用総額 68,931 円

内訳：（諸謝金 4,000 円 旅費交通費 32,500 円 通信運搬費 2,750 円 消耗品費 22,523 円
賃借料 4,160 円 教材費 1,746 円 会議費 1,252 円）

(ケ) 収 益 0 円

ウ OB・OG 活動支援事業

(ア) 事業内容

①卒業生や高校生を中心とする進路・悩み等の相談業務への対応

②のばす会への行事参加

(イ) 従事者人数 1 名

(ウ) 受益対象者人数

・年間 5 名が参加。

(エ) 費用総額 0 円

・内訳：（消耗品費 0 円）

(オ) 収 益 0 円

エ 第 2 部学習支援事業

(ア) 事業内容

①毎週木曜日（14：30～17：00）参加者は中学生、高校生、卒業生たちで、居場所の提供をした。

②学習支援：ボランティアやスタッフに支えられて活動している。学習専門のボランティアスタッ

フや日本福祉大学ボランティアサークル「結日」の学生が参加している。

③ 進路相談：本人の希望第一に繰り返し対応した。第2部担当以外のスタッフの協力に支えられた。

(イ) 従事者人数

・ 1日2～4名

(ウ) 受益対象者人数

・ 1日平均2名（中高校生）

(エ) 費用総額 176,500円

(内訳：旅費交通費176,500円)

(オ) 収益 0円

(2) カウンセリング研修事業

ア カウンセリング研究会

(ア) 事業内容と開催趣旨

本団体が指導を受けている臨床心理士の助言に基づき、スタッフのカウンセリング技法の向上、保護者へのカウンセリングに対する理解などを図るための手法を学んだ。具体的には、ケーススタディーを扱うと同時に、テキスト・参考文献の選定を受けて、それに基づいての学習が行われた。また、臨床心理士のコラムをニュースレターやホームページに掲載した。また、開催時間を午前に設けスタッフが参加しやすいように試みた。

(イ) 開催日時

・ 毎月第3月曜日 9:30～10:30 アイプラザ半田109号室

・ 本団体の主要スタッフの研修に加え、臨床心理士による指導・助言により開催された。

(ウ) 費用総額 33,706円

内訳：(旅費交通費31,000円 教材費2,706円)

イ スタッフのカウンセリング研修と親の会

(ア) 事業内容

スタッフの研修を通して、子どもたちや保護者が抱えている問題をより理解することを目的とした。月1回のスタッフ会議での児童生徒への対応をケーススタディーとして位置付けて協議し、臨床心理士の助言・指導を受けた。また、保護者の方々が、ともに自らの気持ちを語り合う場（「親の会」）を提供した。

(イ) 開催日時と会場・参加人員

① カウンセリング研修

・ 毎月第4土曜日 10:00～12:00

・ 参加人数 5～8名

② 親の会

・ 毎月第3土曜日 13:00～15:00 106号室で開催

・ 参加人数 3～6名

(ウ) 費用総額 12,753円

①カウンセリング研修 4,500円

・内訳：(旅費交通費4,500円)

③親の会 8,253円

内訳：(旅費交通費6,500円 消耗品費1,753円)

(3) 青少年の健全育成に関する事業

ア 文化祭事業

(ア) 開催 日時：令和8年1月25日(日) 13:30~15:00

(イ) 実施 会場：アイプラザ半田 2階・小ホール 68名参加

(ウ) 準備時間帯：12:30~13:10

(1)会場設営 (2)活動の様子パネルの展示 (3)リハーサル

(エ) 実施時間帯：13:30~15:00

(オ) 実施 内容：

(1) 代表挨拶

(2) 講師紹介

(3) 講演会「子どもはどうやって成長していくのか」

講師：臨床心理士・公認心理士 米村高穂氏

(4) スタッフ紹介

(5) 終わりの挨拶

(カ) 費用総額 42,620円 内訳：(諸謝金16,000円 会議費6,270円 旅費交通費10,500円
印刷製本費2,520円 賃借料7,000円 通信運搬費330円)

(キ) 収益 0円

3. 古川一也公認会計士事務所コンサルティング

会計について処理の仕方などを相談し、適切な助言をいただいて処理してきた。

4. 日本福祉大学との連携(サービ斯拉ーニング)事業協力について

(1) 事業の実施方法

実施主体の日本福祉大学では、市民活動の中間支援組織である NPO 法人「地域福祉サポートちた」をパートナーとし、当団体としては両者の要請に応える形で事業の実施に当たった。

(2) 事業の内容

ア. 6月6日(金) 9:20~12:00 日本福祉大学 打ち合わせ会

イ. 6月12日(木) 14:00~16:00 アイプラザ半田 学生3名 のばす会事前訪問

ウ. 寺子屋事業参加 13:00~16:00

8月18日(月) 参加学生3名、8月19日(火) 参加学生3名

8月20日(水) 参加学生3名、

エ. フリースクール参加 10:00~15:00

8月21日(木) 参加学生2名、9月4日(木) 参加学生3名、

9月11日(木) 参加学生1名、

オ. 10月18日(土) 13:10~16:35 サービスラーニング活動報告会 日本福祉大学

(3) 参加学生数

- ・日本福祉大学社会福祉学部 2 年生 3 名

(4) 担当者

- ・のばす会担当者：伊藤 里香
- ・大学担当者：日本福祉大学 社会福祉学部 両角達平講師

(5) 事業収益 15,000 円

5. 地域社会と行政及び社会貢献型企業の開催事業への参加

- ・従前の企業の社会貢献イベント事業は開催されていない。

6. 他団体との交流・協力のための会議・研修・情報交換

- ・6月6日(金)「サービスマーケティング打ち合わせ会」9:20~12:30 日本福祉大学 (伊藤里)
- ・7月28日(月)半田市立さくら小学校現職教育 講師 9:30~11:00 106号室 (赤松)
- ・9月6日(土)まちづくり協働フェスタ 10:00~15:00 市民交流センター
(赤松、伊藤八、伊藤里、村瀬)
- ・9月19日(金)ひきこもり地域関係機関ネットワーク会議 14:00~16:00 半田保健所 (赤松)
- ・9月21日(日)「若者サポート進路を考える会」知多市青少年会館 14:00~16:30 (村瀬)
- ・10月18日(土)「サービスマーケティング活動報告会」13:10~16:35 日本福祉大学 (伊藤里)
- ・10月24日(金)「令和7年度フリースクール連絡協議会」愛知県教育委員会主催 14:00~16:00
オンライン参加 (赤松)

7. 主な訪問者・見学者及び訪問団体

- ・4月10日(木)、3月12日 半田市福祉部生活援護課 2名
- ・4月18日(金)、6月6日(金)、7月3日(木)3月25日(木) 半田市学校相談員1名、
- ・5月8日(木)、10月17日(金)、11月11日(火) 知多教育事務所 相談員 1名
- ・5月22日(木)、8月27日(水) 半田市市議会議員 各1名ずつ、合計2名
- ・6月26日(木)、2月26日(木) 半田市福祉協議会 2名
- ・8月5日(火)、10月30日(木)、3月25日(木)半田市子ども未来部子ども育成課 部長他1名
- ・8月5日(火) 半田市企画部企画課 1名
- ・8月26日(火)半田市スクールソーシャルワーカー 1名
- ・11月5日(水) 半田市教育委員会 部長他 1名
- ・12月23日(火) 半田市生涯学習課 課長他 3名
- ・3月20日(金・祝日)(令和7年度卒業・修了を祝う会)へ 教育関係者 4名、
- ・3月25日(木) 半田市市民協働課 1名

8. 助成金に関する報告

ア 助成金の種類

- ・令和7年度 子どもの学習・生活支援事業(長期休暇学習支援事業)

担当部署(半田市子ども育成課)

対象事業：「寺子屋事業」及び「夏休み中高生学習支援事業」助成金・・・・・・・・・・160,000円

イ 助成金への対応

・一層充実した活動に心掛け、お礼と共に定期的な会計及び活動報告を行った。

9. 寄付又は寄贈及び寄付金に関する報告

(1) 寄付の種類

(ア) 寄付（支援物資を含む）

・募集方法

募集方法：ニュースレター及び文書による募金のお願い。預金口座により寄付金を募り、寄付者へのお礼をニュースレターに掲載する。

(イ) 寄付金

① 賛助会員受け取り寄付金（個人・団体寄付金） 528,750円

② 団体の支援物資

- ・日本証券業協会・「子どもサポート証券ネット」加盟会社…物品(支援物資)寄付団体一覧
 - ・岩井コスモ証券株式会社・岡三証券株式会社・立花証券株式会社・楽天証券株式会社
 - ・支援物資の内容：(お米 5 キロ 6 袋、ラーメン、食品詰め合わせ、レトルト食品等)
- ・半田市社会福祉協議会…お米 10 キロ 2 袋、飲料、食料、アイスクリーム、菓子類、他に文房具等

(2) 書き損じハガキと未使用切手の回収事業：切手代等：1,883円（資産受贈益として計上、前年度繰越分含む）回収事業を行い、のばす会に在籍した人たちや相談に来られた方に「のばす会・ネットワーク便り」や講座などの案内を郵送する通信費に充てた。

(3) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン ギフトカード：10,100円（資産受贈益として計上）

(4) 個人のみな様より、食品や衣類、消毒液、文房具、本、雑貨など多くの寄付が寄せられた。

(5) 物品(支援物資)の寄付及び寄付金への対応

・寄付及び寄贈者に対して受領記録簿に記入の上、お礼及び会計・活動報告を例年同様継続して行った。

10. 広報活動について

(1) 本団体ホームページの 随時更新

(2) ニュースレターの年3回の発行

a 「のばす会・ネットワーク便り」第36号：2025（令和7）年4月8日発行

b 「のばす会・ネットワーク便り」第37号：2025（令和7）年8月6日発行

c 「のばす会・ネットワーク便り」第38号：2025（令和7）年12月6日発行

※会員、寄付者、相談者、過去在籍者、及び関係の個人や各関係各機関に配布した。

(3) 日本財団が運営するCANPANに団体情報を掲載し、全国に情報を開示した。

11. 会議の開催に関する事項

ア 理事会

(ア) 開催日時及び場所

・第1回 令和7年5月10日（土）11：00～12：00 アイプラザ半田109号室

（イ）議題

a. 審議事項

第1回（5月10日（土））理事会

- ・第1号議案：令和6年度事業報告書について
- ・第2号議案：令和6年度活動計算書について
- ・第3号議案：令和7年度事業計画（案）について
- ・第4号議案：令和7年度事業予算（案）について
- ・第5号議案：令和7年度役員変更（重任）について

b. 報告事項

- ・年間役員名簿について

イ 通常総会

（ア）開催日時及び場所

・令和7年5月10日（土）13：00～14：00、アイプラザ半田第1会議室

（イ）議題

a. 審議事項

- ・第1号議案：令和6年度事業報告書について
- ・第2号議案：令和6年度活動計算書について
- ・第3号議案：令和7年度事業計画（案）について
- ・第4号議案：令和7年度事業予算（案）について
- ・第5号議案：令和7年度役員変更（重任）について

b. 報告事項

- ・年間役員名簿について

以 上